校長室通信

平成２５年度
第 ２１ 号
下野市立南河内第二中学校
発行者　横　島　　清

Ｈ２６．２．２８

２週にわたって降った雪もようやく消え去ろうとしています。雪解けの庭には、スイセンなどの芽が見られ、確かな春の訪れを感じます。卒業式までおよそ２週間となりました。学校では、全校あげて卒業に向けての準備に取りかかっています。保護者の皆様の各立場で、卒業の話題などで一家団欒の一時を持っていただけたらと思います。

１　授業参観・学年ＰＴＡに多くの参加、ありがとうございます。

《イシノマキにいた時間》

２年連続の演劇鑑賞となりました。今回のテーマは、ボランティアでした。東日本大震災の復興のためにボランティアを決意し、現地に赴いた３人の若者の苦悩する心の変化を、笑いと涙を誘いながら軽妙に描き出していました。学年だよりや学級通信などで読ませていただいた生徒の感想は、ボランティアのあり方やその難しさなどをしっかり捉えていました。

《学年ＰＴＡ》

各学年ＰＴＡへの参加および活動ありがとうございました。学校評議員会を同時開催したため、挨拶できなくて申し訳ありませんでした。各学年とも、スムーズに進行したと聞いております。

花束贈呈

ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝｿﾌﾄによる発表

《総合的な学習の時間発表会開催》

３年生が２月１８日(火)に、２年生が２０日(木)に、総合的な学習の時間の研究発表会を実施しました。参観ありがとうございました。なお、１年生は、３月７日（金）の実施となっています。

『主な成果』

- ２年生３年生とも、前年より（１年より２年、２年より３年）内容のレベルアップが図れている。
- 質問が活発になされ、応答もできている。
- 書物やネット検索、校外諸機関への聞き取り調査など学ぶ方法が身についてきている。
- ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝｿﾌﾄを自由に使いこなしている。
- 紙面のまとめ方が上手になっている。
- 説得力のある研究になっているものが多い。

『改善点』

- 課題追究が長期にわたるので、計画的に取り組む時間の確保と普段の研究の継続が必要である。
- 発表時の態度が良くない班および聞く姿勢の悪い生徒が見受けられた。
- 論旨を外れた、考えのない質問が見られた。
- 研究に深まりがない、説得力に欠けるまとめ方の班もあった。
- 図や表、インタビュー・メモ等を効果的に使う表現および話し方の訓練が必要である。

模造紙による発表

２　自治医科大学在宅実習実施

２月６日、７日に自治医科大学看護学部の３年生５名が、現地実習に訪れ１年生２年生の各学級で一日ずつ過ごしました。感想をお伝えします。

２日間という短い時間でしたが、本当にありがとうございました。私がこの二中のすばらしいなと感じるところは、あいさつです。一人一人目を見て元気な明るいあいさつをしてくれて、とても嬉しく、良い気持ちになれました。また、授業中はしっかり授業に集中し、休み時間には元気に遊んでいる姿を見て、メリハリのあるすばらしい学校だと感じました。このような学校であるのも、生徒および先生方が一生懸命築き上げたものがあるからだと思います。今後の益々のご発展をお祈りしています。

実習で生徒たちと関わってみて、とても元気で素直な子どもたちだなと感じました。休み時間などで遊ぶときには活発であり、授業の時には真剣に取り組んでいてすごいと思いました。特に、挨拶と無言清掃には感心しました。また、先生方の連携や教育指導・学校保健に関しての計画や共通理解がなされており、学校という組織で生徒を見守ることができていると感じました。短い時間でしたが、多くのことを学ぶことができました。本当にありがとうございました。

３　各種表彰関係

２月２６日の朝会での表彰を掲載します。誌面の都合上全員の氏名を載せることができませんでした。ご了承ください。卒業式を前にした表彰でしたが、適度の緊張感を持って、動作が礼儀正しくスムーズに行われたことや、大きな返事ができたこと、開始が予定時刻より早く始まることができているなど、式への意識が高まっていると感じました。これも、３年生が見本を示してきた事と、その後を引き継ぐ２年生が全体を引っ張っているからだと思います。卒業式が楽しみです。

【奥日光清流清湖フォトコンテスト】
・ジュニアの部　会長賞；

【栃木県理科研究展覧会並びに発表会】
・優秀賞；

【下都賀地区理科研究展覧会】
・優秀賞；１名
・優良賞；２名

【下野教育美術展覧会】
・学校賞受賞
・金賞４名
・銀賞８名
・銅賞５名
・入　選９８名
・奨励賞５４名

【私の推薦する本】
・優秀賞４名

【第４２回野木卓球大会】

【小山地区書初展覧会】
・特賞５名
・金賞９名
・銀賞１１名
・銅賞２５名
・奨励賞５４名

４　入試情報～特色選抜入試実施～

今年度から導入されたされた新たな入試制度である特色選抜が２月６日、７日に実施されました。
今回の本校の受検者数は２２名で、学年全体の約１２％強です。この制度は、受検機会の複数化、つまり、本人の希望により、特色選抜入試と一般選抜入試の２回の受検を可能にしたものです。
受検では、希望する高等学校が求める資格要件を満たすことが条件です。また、面接（口頭試問）のほかに、小論文、作文、筆記試験等を課す学校もあります。１、２年生も、まだ後のことだと思わずに、良く考えておきましょう。
進路だより６号（２月２６日付け発行）では、今年度入試の体験談（私立高校および特色選抜）や先輩から後輩への受験勉強および入試へのアドバイス等がありますからご一読ください。

《ちょっと嬉しい話》

【雪かきボランティアありがとう】
今年の２月は、関東各地で過去最高の降雪量を記録する地区が出るなどなど、２週にわたり大雪に見舞われました。学校では、毎週部活動が中止になるなど、活動に多くの支障が出ました。また、校内に降り積もった雪で、通行も大変な様相でした。通路一面を覆い尽くした雪が行く手を阻み、生徒の登校も危ぶまれました。幸い、降雪が２週とも土日に重なったため、学習への影響は最小限にとどまりました。

そんな中で、多くの生徒たちが、雪かきをしてくれました。私が駆けつけたときは、各門から昇降口への通路は、職員によって確保されていました。そこで、正門の雪かきを開始したところ、通りかかった生徒やスコップ持参の生徒が手伝ってくれました。また、部活動単位で行ってくれたり、３年生が受験勉強の合間に除雪してくれたりと、それぞれがそれぞれの思いでの雪かきでした。お陰で、その後の生活に支障なく入ることができました。非常時には、人海戦術が一番だなと思いました。